

平成 27 年 6 月 16 日  
自動車検査独立行政法人

**民間競争入札実施事業**  
**自動車検査独立行政法人自動車検査用機械器具の保守管理業務の実施状況について**  
**(平成 26 年度)**

I. 事業の概要

1. 委託業務内容

自動車検査独立行政法人法第 14 条の規定に基づき中部検査部管内 12 事務所及び北陸信越検査部管内 6 事務所に設置される自動車検査用機械器具維持及び管理

2. 業務委託期間

平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

3. 受託事業者

中部検査部      株式会社 オルタライフ  
北陸信越検査部   入札不落により市場化テスト未実施

4. 契約金額

中部検査部      47,080 千円（税抜）  
北陸信越検査部   入札不落により市場化テスト未実施

II. 業務の実施に当たり確保されるべき質の達成状況及び評価

<中部検査部>

各業務	測定指標	評価		
		期間		適・不適
検査機器定期点検	定期点検実施に伴う閉鎖時間が半期で 183 時間 30 分を上回らないこと。	上半期	142 時間 30 分	適
		下半期	143 時間 45 分	
検査機器校正	校正実施に伴う閉鎖時間が年間 169 時間 51 分を上回らないこと。	年間	127 時間 25 分	適
重量計定期検査	定期検査に伴う閉鎖時間が 26 年度にあっては年間 0 分、27 年度にあっては年間 2 時間 45 分を上回らないこと。（注）	平成 26 年度	00 時間 00 分	適

注）重量計の定期検査は 2 年に 1 度であり、各年における検査基数が異なるため、指標設定が相違している。

<北陸信越検査部>

入札不落により市場化テスト未実施

Ⅲ. 仕様書に記載の業務内容の達成状況及び評価

<中部検査部>

各業務	確認事項	評価
検査機器定期点検	全ての対象機器について必要な点検が実施されているか。	適 (業務報告書の内容、業務監督責任者の所見等から、确实かつ適切に実施されたと認められる。)
	検査コース閉鎖時間が報告されているか。	
	実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。	
検査機器校正	登録校正実施機関による校正を受けているか。	
	全ての点検対象機器について前回の校正の日から概ね1年以内に校正が実施されているか。	
	検査コース閉鎖時間が報告されているか。	
	実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。	
重量計定期検査	指定定期検査機関等による定期検査を受けているか。	
	全ての点検対象機器について前回の定期検査の日から2年以内に定期検査が実施されているか。	
	検査コース閉鎖時間が報告されているか。	
	実施結果は実施完了後7日以内に報告されているか。	

<北陸信越検査部>

入札不落により市場化テスト未実施

Ⅳ. 実施経費の状況及び評価

<中部検査部>

1. 平成26年度と市場化テスト以前で業務仕様が同等な平成24年度の実施経費

平成26年 4月 1日～平成28年 3月31日 47,080千円(税抜)

(内訳:平成26年度 23,217千円、平成27年度 23,863千円)

平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日 25,018千円(税抜)

2. 平成26年度の実施経費と平成24年度の実施経費を比較した経費削減効果

(注)重量計の定期検査が2年に1度であり、検査基数が奇数年度(9基)と偶数年度(4基)で相違するため、直近の検査基数が同程度の平成24年度と比較

23,217千円 - 25,018千円 = -1,801千円 削減率 ▲7.20%

### 3. 評価

市場化テスト以前の平成 24 年度と直近の検査基数が同程度の平成 26 年度を比較して 1,801 千円（7.20%）の経費削減効果があったものと評価できる。

#### <北陸信越検査部>

入札不落により市場化テスト未実施

## V. 競争状況及び評価

### <中部検査部>

#### 1. 本業務の応札状況

総合評価方式で入札を実施したところ、入札参加者は 2 者であり、提出された企画書について審査した結果、入札参加資格及び必須審査項目を満たしていたため、最も総合評価点の高い者を落札者とした。

#### 2. 平成 25 年度の契約状況

検査機器定期点検	5 者	(3 者：一般競争入札、2 者：不落随契)
検査機器校正	1 者	(一般競争入札)
重量計定期検査	1 者	(随意契約)

#### 3. 評価

従来随意契約であったものを含め民間競争入札に移行できたこと、競争性が確保されたことは評価できる。

### <北陸信越検査部>

#### 1. 本業務の応札状況（経緯）

平成 25 年 12 月 25 日	入札公告
平成 26 年 2 月 3 日	入札参加意思表示期限（2 者が参加意思表示）
平成 26 年 2 月 13 日	入札書等の提出期限（2 者が入札書等を提出）
平成 26 年 2 月 27 日	開札（2 者の参加があり、いずれも予定価格を上回ったため不落とした。）
平成 26 年 4 月 17 日	入札公告（再度公告）
平成 26 年 5 月 21 日	入札参加意思表示期限（1 者が参加意思表示）
平成 26 年 6 月 6 日	入札書等の提出期限（1 者が入札書等を提出）
平成 26 年 6 月 17 日	開札（1 者の参加があり、予定価格を上回ったため不落とした。）

#### 2. 評価

入札参加者は 2 者あったが予定価格を下回らなかったため不落となった。入札参加者に入札価格の考え方について聞き取り調査を行ったところ、北陸信越エリアに営業所がない等のた

め、予定価格との乖離があるとのことであった。このため、予定価格算出方法の再考も視野に入れ検討すべきであるが、市場化テストの意義を失いかねないため慎重な検討を要する。また、入札参加者の新規参入を促す情報提供等の努力を行う必要がある。

#### VI. 民間事業者からの改善提案による改善実施事項等

##### <中部検査部>

重量計定期点検の実施について、検査時間外（昼休み等）に実施されており可能な限り検査コースの閉鎖時間を少なくする努力が見られた。

##### <北陸信越検査部>

入札不落により市場化テスト未実施

#### VII. 全体的な評価

中部検査部における市場化テストについては、導入する前の業務仕様が同等な平成 24 年度と比較すると経費が約 7%削減され、良好な実施状況にあることが認められたところではあるが、実施状況についての外部有識者等によるチェック体制が未定であることから、引き続き次期事業においても、現行の市場化テストに沿って実施することとしたい。また、北陸信越検査部の市場化テストについては、入札参加者が 2 者あったが予定価格を下回らなかったため不落となったことから、今後、入札参加者の新規参入を促す情報提供等の努力を行い、次期事業において市場化テストを実施することとしたい。